

執筆者紹介

- 塩 入 良 道 (大正大学仏教学部教授)
- 平 井 俊 栄 (駒沢大学仏教学部教授)
- 和 田 謙 寿 (駒沢大学仏教学部教授)
- 皆 川 広 義 (駒沢大学仏教学部助教授)
- 石 井 修 道 (駒沢大学仏教学部助教授)
- 片 山 一 良 (駒沢大学仏教学部助教授)
- 伊 藤 隆 寿 (駒沢大学仏教学部助教授)
- 石 川 力 山 (駒沢大学仏教学部専任講師)
- 伊 藤 秀 憲 (駒沢大学仏教学部専任講師)
- 木 南 広 峰 (駒沢大学大学院博了)
- 仙 石 景 章 (駒沢大学大学院博三)
- 鏡 島 元 隆 (駒沢大学仏教学部教授)
- 山 内 舜 雄 (駒沢大学仏教学部教授)
- 吉 津 宜 英 (駒沢大学仏教学部助教授)

編集後記

『仏教学部論集』第十二号をお届けいたします。仏教学会主催の公開講演会の記録を一篇、各先生方及び大学院生諸氏の専門野分の研究並びに資料紹介九篇、紀行文一篇、書評

紹介三篇、合計十四篇を収録しました。

巻頭の「法華経の精神」は、公開講演会の記録に、塩入良道先生自ら御加筆等の手を入れていただいたものであります。『法華経』は道元禅師が最も重要視した經典でもあり、今後の我々の『法華経』理解の指針を示していただきました。さらに塩入先生には、御繁忙の中を校正にまで御目通しいただき、あわせて厚く御礼申し上げます。

また、立正大学教授野村耀昌先生による公開講演「法華経の流伝について」も本紙上に掲載する予定でしたが、編集者の不手際から入稿が間に合わず、掲載することができませんでしたこと、深くお詫び申し上げます。次号に掲載する予定で作業を進めておりますので、宜しく御寛恕をお願い致します。

『仏教学部論集』は、仏教学部専任教員に限らず、非常勤の諸先生方、さらに大学院生も寄稿できる開かれた論集としての使命をもっております。今回は非常勤の先生方の御寄稿はありませんでしたが、今後共御専門の立場からの御寄稿を賜りますようお願い申し上げます。また、大学院生諸氏にも機会があったら積極的に執筆されることをおすすめいたします。

最後に、校正に御協力いただきました諸先生方に深く御礼申し上げます。
(編集子)

仏教学部論集 第十二号

昭和五十六年十月二十五日 印刷
昭和五十六年十月三十日 発行

東京都世田谷区駒沢一丁目二三番一号
駒沢大学仏教学部

編集兼発行 仏教学部研究室
電話〇三(四二八)九二二六・九二二七

岩手県盛岡市上田一六―四九
株式会社 熊谷印刷
印刷者 熊谷 孝